

第1回 日吉台小学校第二方面校開校準備部会会議録	
日 時	平成28年11月7日(月)15時30分～17時00分
開 催 場 所	日吉台小学校 家庭科室
出 席 者 (24名)	小島部会長、片野副部会長、佐藤副部会長、白鳥委員、小野委員、足立委員、鬼崎委員、牧委員、小嶋委員、長友委員、増淵委員、林委員、塚田委員、加藤委員、山本委員、鈴木委員、尾花委員、遠藤委員、関根委員、石坂委員、荻原委員、大森委員、佐治委員、高橋委員
欠 席 者 (4名)	大谷副部会長、京盛委員、内山委員、村上委員
開 催 形 態	公開(傍聴者4人)
議 題	1 日吉台小学校第二方面校(仮称)の概要について 2 日吉・綱島地区の小・中学校について 3 日吉台小学校第二方面校(仮称)の通学区域案について
決 定 事 項	1 事務局から提示された、日吉台小学校第二方面校(仮称)の4つの通学区域案について、各所属団体に持ち帰り、次回の部会で各所属団体から出た意見をもとに検討する。
議 事	<p>1 日吉台小学校第二方面校(仮称)の概要について</p> <p>(事務局) 日吉台小学校第二方面校(仮称)の概要について説明。</p> <p>(委員) 9,500㎡の敷地面積というのは、現在の日吉台小学校と同じくらい大きさなのでしょうか。</p> <p>(事務局) 現在の日吉台小学校の敷地面積は7,000㎡弱ですので、それよりは広く、日吉南小学校とだいたい同じくらいです。 小学校の平均的な敷地面積が約1万㎡ですので、おおむね平均的な敷地面積と考えています。</p> <p>(部会長) ほかに、なにか質問ありますでしょうか。 (質問なし) それでは、次の議事に入らせていただきます。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>2 日吉・綱島地区の小・中学校について</p> <p>(事務局) 日吉・綱島地区の小学校4校、中学校2校について、今後の児童生徒数・学級数の見込みを説明。</p> <p>(部会長) 事務局から日吉・綱島地区の小・中学校について説明がありました。 なにか、ご意見、ご質問ありますでしょうか。 (質問なし) ないようですので、次に進みます。 事務局から説明をお願いします。</p>

3 日吉台小学校第二方面校(仮称)の通学区域案について

(事務局) 日吉台小学校第二方面校(仮称)の通学区域案について、基本的な考え方と4つの案を説明。

(委員) 日吉台中学校と日吉台西中学校の通学区域も合わせて見直すことで、中学校での生徒の受け入れを平準化するというような検討は、この部会では行わないのでしょうか。

(事務局) 今回は新しい小学校の通学区域を決めますので、新しい小学校の通学区域に関連する、日吉台中学校と樽町中学校の通学区域について検討することになります。

日吉台西中学校の通学区域については、地域のみなさんからご要望等いただければ、学校計画課で別途調整をさせていただきます。

(委員) 冒頭に敷地面積の質問がありました。矢上小学校は、市立小学校の中で2番目に狭い敷地で、現在でも運動会の時は、保護者は全員立ち見となっています。今後さらに児童が増えるとグラウンドに入りきれないような状況です。資料には、ぜひ敷地の広さを記載して、考慮のひとつに入れていただければと思います。

(委員) 日吉南小学校は、個別支援学級で5教室+プレイルーム1つを使用しており、資料上は教室数に余裕があるように感じますが、実際は余裕がありません。新設校についても、個別支援学級等の設置も考慮したほうが良いと思います。

(事務局) 確かにおっしゃるとおりです。次回には、資料から読み取れるように表現を工夫していきたいと思います。

(委員) 網島東小学校について、先日の保護者説明会で、平成30年度の時点で教室が不足するため校舎の改修などで対応するという話をお聞きしました。現在、どのくらいの教室数を確保して、全体の保有教室数をどのくらいで考えているのかを教えてください。

また、示された4案とも平成34年度には21学級くらいの人数になる見込みのようですが、平成34年度以降は増えていくような傾向なのかを教えてください。

(事務局) 網島東小学校については、新設校ができる、できないに関わらず、教室数は不足する状況ですので、網島東小学校の通学区域のみなさんをご心配のことと思います。その点は我々も非常に課題がある学校だという認識でおります。校長先生ともよくお話しさせていただき、学校運営上あまり支障がないように考慮しながら内部改修を行うなど整備を進めていきます。今時点で何教室とお答えすることはできませんが、保有教室はしっかり確保していきます。

(委員) 平成34年度以降の児童数の傾向はどうでしょうか。

(事務局)	平成 34 年度以降は、今回検討いただく通学区域がどのようになるかによって大きく変わってきます。平成 34 年度までについては、精緻に推計を行っていますが、それ以降については持ち合わせておりません。
(委員)	綱島東小学校の教室整備については、よろしくお願いします。 ところで、通学区域については示された 4 案のなかで検討していくということでしょうか。まだ変更する可能性はあるということでしょうか。
(事務局)	我々としては地域を分断するような通学区域案を作成することはできないため、今回お示ししたものは、我々が考えられる案ということです。保護者説明会などでご説明した当初の通学区域案から、どの範囲まで加えることができるのか、考えられる最少から最大までを大きく分けると、お示した 4 つの案となりました。 案 1 から案 4 のうちどれかを基準にして、そこから少し修正してみるなど、みなさんでご議論いただくたたき台とするもので、この 4 つの案の中で決めなければいけない、ということではありません。
(委員)	先ほど望ましい通学距離について、小学校に関しては片道おおむね 2 km 以内というお話がありましたが、示された 4 案すべてにそれが反映されているわけではないですね。
(事務局)	案 1 から案 4 では、片道おおむね 2 km となっています。 最終的に決定する通学区域については、みなさんのご意見をいただいて、しっかりと見ていきます。
(委員)	小学 1 年生が長い距離を通学するのは見ても大変そうなので、良い結果になるような工夫をお願いしたいと思います。
(委員)	案 1 から案 4 を基準としてということですが、次回に、こういう案はどうですかと提案しても数字はすぐには分からないと思います。案 3 の綱島東五丁目の 50% と、案 4 の日吉七丁目の 50% を含めた場合どのようになるのか、作成いただいたほうが良いと思うのですが。
(事務局)	綱島東五丁目も日吉七丁目も非常に児童数が多い地域のため、両地域を含めると平成 34 年度の時点で保有教室を超える可能性があると考えます。 あくまで事務局の案ですが、両地域を含めた通学区域というのは、教育環境の面からも現実的ではないと考えています。
(委員)	新設校だけではなく周辺校も含め、学校規模を均等とする通学区域にできることが理想だと思います。新設校の保有教室は 31 の予定ということですが、様々な検討をした結果、周辺校に比べて新設校が一番大きくなってしまふことは想定されているのでしょうか。

	<p>(事務局) 教室数(部屋)として最大31を計画しているということで、クラス数を31学級まで設けることは考えていません。近隣校と同程度の、適正規模である24学級程度までで推移するよう通学区域を整理したいと考えております。</p> <p>(部会長) ほかに質問ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>特にないようですので、本日本日予定されていた議事は以上となります。</p> <p>なお、本日、事務局から提示された通学区域案については、それぞれの団体に持ち帰って、関係のみなさんに説明していただき、次回部会までに、意見や要望を取りまとめておいてくださるようお願いいたします。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 席次表</p> <p>(4) 開校準備部会について</p> <p>(5) 日吉台小学校第二方面校開校準備部会運営要領</p> <p>(6) 日吉台小学校第二方面校開校準備部会 傍聴に関する要領</p> <p>(7) 横浜市学校規模適正化等検討委員会条例</p> <p>(8) 日吉台小学校第二方面校(仮称)の整備に関する保護者説明会について (開催報告)</p> <p>(9) 第1回日吉台小学校第二方面校開校準備部会 【議事資料】</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、12月12日(月)15時半から開催予定。開催場所は、日吉台小学校。</p>